

2018年2月3日

福島ダイアログ：南相馬、小高のいま、未来を共有するための対話集会
～国際放射線防護委員会（ICRP）の協力による対話の継続～

【日時・場所】

2月10日（土） 南相馬市内フィールド見学（一般参加可）※事前登録制
懇親会（17時半～19時半）：ロイヤルホテル丸屋（無料、一般参加可）

2月11日（日） 南相馬市民情報交流センター2F マルチメディアホール

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/26.html>

（一般公開・聴講自由）

※原ノ町駅徒歩3分 駐車場：2時間まで無料、以降1時間100円

※参加・見学自由、参加費無料、同時通訳あり（同時通訳：株式会社ヒラノ）

【主催】南相馬ダイアログ実行委員会

NPO 福島のエートス 安東量子

広島大学 金井裕美子

福島県立医科大学 佐藤紀子

福島県立医科大学 宮崎真

福島県立医科大学 黒田佑次郎

ICRP 科学秘書官補佐 荻野晴之

ICRP 副委員長 ジャック・ロシャール

ICRP 科学秘書官 クリストファー・クレメント

【後援】 南相馬市、日本財団



【参加団体】

福島のエートス、フランス放射線防護原子力安全研究所（IRSN）、フランス原子力防護評価センター（CEPN）、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）、ノルウェー放射線防護庁（NRPA）、広島大学、福島県立医科大学

※お知らせとお願い※

今回の南相馬ダイアログセミナーは、映像を撮影し、「福島のエートス」のサイト（<http://ethos-fukushima.blogspot.jp>）に記録として公開する予定にしております。動画の公開を遠慮したいという方は、早めにお知らせいただきますようお願いいたします。（連絡先：ethos.fukushima@gmail.com）

【目的】

2018年2月3日

2011年3月に起きた東日本大震災による地震、津波によって、南相馬市は甚大な被害を受けた。ついで東京電力福島第一原子力発電所事故が起き、小高地区と南相馬市の一部は、津波被災地の行方不明者の捜索もできないままに避難を強いられることとなった。2011年4月の区域再編後は、市内は、警戒区域、緊急時避難準備区域、特定避難勧奨地点、通常区域に四分されることとなった。市内の人口は、警戒区域以外でも一時期は2割程度まで激減し、地震、津波による甚大な被害に加えて、住民の通常社会生活に大きな混乱をきたすこととなった。

2014年5月に、南相馬市原町区「ゆめはっと」にて、第8回ICRPダイアログセミナーが開かれ、地域の複雑な状況について話し合われた。

その後、2016年7月12日には、小高区と南相馬区の一部に出ていた避難指示が解除され、南相馬市は、数戸を残して、通常生活を送れることとなった。2017年10月31日における南相馬市内の居住人口は、市内全域では57,307名(震災時71,561名)、小高区では、2,289名(震災時12,842名)となっている。インフラの復旧は進み、社会生活は、徐々にではあるが、日常を取り戻しつつある一方、津波被災地の復興は、避難指示がなされていた地区においてはまだ始まったばかりであり、避難指示が出されていなかった地域でも、道半ばである。津波の影響がなかった地域も、長期の避難指示によって社会構造は大きく変化し、新しい状況に適応する社会的態勢が整うには、長期の時間がかかるものと見込まれる。

住民生活の面においても、それぞれの被災状況によって生み出された違いがいまだ大きな影響をもたらしている中、2016年7月に避難指示が解除された小高区を中心に、いま、地域で問題となっていることは何か、そして、この先、どのような将来を人々は望むのか、これまでのダイアログセミナーに参加していただいた方にもお声がけをして、共有する機会としたい。

【日程：1日目】

2月10日(土)

フィールド見学(一般参加可) ※事前登録制

見学場所 ※雨天時は一部見学ができなくなる可能性があります。

9:30 小高駅前集合 ※名札・同時通訳機・プログラム・Dシャトルを配布

9:30~10:00 挨拶・注意事項説明・バスへ乗車

10:00~10:30 小高町駅前の通りを説明を聞きながら移動

*震災前の写真を見ながら 説明：杉さん&米田さん

10:30~11:15 飯崎 農業再開試行の現地説明 水谷隆(みずがい)さん

11:15~12:30 小谷他→北鳩原→大富→金谷 バス車内から仮置場・ソーラーパネル等見学 説明：杉重博さん

2018年2月3日

12:30~13:30 昼食：浮舟文化会館会議室（定員：50名 弁当主催用意）
13:40~ 行津災害廃棄物仮置場（通過）→井田川除染廃棄物置き場（浦尻高台で下車説明）→下蛭沢焼却施設（通過）→塚原地区見学（塚原公会堂駐車、下車説明） 現地説明：村田博さん&鎌田たつ子さん
15:30~15:45 小高駅前 同時通訳機と名札、Dシャトルを回収
16:10 バス原ノ町駅前に移動（17時30分まで自由行動）
17:30~ ロイヤルホテル丸屋にて懇親会 ※参加自由・参加費無料
19:30 終了

【日程：2日目】

2月11日（日）

共有のための対話

会場：南相馬市民情報交流センター 2F マルチメディアホール

※マルチメディアホールは、飲食禁止になっています。飲食の際には、談話スペースか、1Fクラフトルームをご利用ください。

司会：ジャック・ロシャール、安東量子

9:30~9:35 はじまりの挨拶（ジャック・ロシャール）

9:35~9:45 前日の見学の振り返り（安東量子）

9:45~10:30 プレゼンテーション

- ・南相馬の概況（15分） 南相馬市企画課復興推進係長 藤原央行さん
- ・南相馬の放射線状況（15分） 南相馬除染研究所：高橋荘平さん
- ・震災前、震災後の小高・南相馬（15分）石川建設工業（株）：石川俊さん

ん

10:30~10:45 コーヒーブレイク 1Fクラフトルーム

10:45~11:30

- ・復興住宅での暮らし（15分）大町きらきらサロン：鎌田たつ子さん
- ・仮設住宅から小高町に戻っての暮らし（15分）小高区住民：米田寛さん
- ・20km圏内での営農再開（15分）小高区住民：水谷隆さん

11:30~12:30 昼食（お弁当） 1Fクラフトルーム 38席+カフェコーナー

12:30~14:45 対話 10名~15名が参加予定。

司会の用意する話題に対して、1人数分、順番にお話をさせていただきます。

<対話参加者>

2018年2月3日

鈴木敦子さん（南相馬市社会福祉協議会）、後藤素子さん（新潟）、高村美春さん（南相馬）、米田寛さん（南相馬）、杉重博さん（南相馬）、鎌田たつ子さん（大町きらきらサロン）、但野謙介さん（南相馬市議）、斉藤幸子さん（南相馬）、石川俊さん（南相馬）、坪倉正治さん（相馬中央病院）、星憲さん（南相馬）、高橋庄平さん（南相馬除染研究所）、林勝典さん（小高行政区長会）
他

- 14:45-15:15 コーヒーブレイク 1Fクラフトルーム
- 15:15-15:35 ノルウェーの経験から（NRPA:アストリッド・リーランド）
- 15:35-15:50 本日のまとめ（OECD/NEA: テッド・ラゾ）
- 15:50-16:10 まとめの議論
- 16:10-16:20 終わりの挨拶（南相馬市：田林信哉副市長）
- 16:20-16:30 最後に ジャック・ロシヤール
- 16:30 終了（お帰りの際は、名札と通訳機の返却をお願いします。）

次回ダイアログは、詳細が決まりましたら、福島のエートスサイトで告知いたします。

<http://ethos-fukushima.blogspot.jp>